

## 第6回長屋門 各地にある長屋門

全国の各地には、長屋門が文化財、名所旧跡、公園の施設、個人の建物として数多く残っている。

書籍やネットで調べたところ、書籍では、滅びゆく民家（川島中宙次著）や埼玉の民家、そして大宮の長屋門などに解説と写真が掲載されている。

ネットでは、栃木県宇都宮市や栃木市など、茨城県つくばみらい市・石岡市など、福島県栗原市、そして我がさいたま市にまとまって数多く残っている。その他各地には、文化財に指定された建物が修復され管理が行き届いた姿が見られた。しかし一方個人による長屋門は、しっかり維持管理された建物もあるが、中には寂れたすがたを晒している建物も見られた。

長屋門は、武家屋敷の表門をして造営されてきたが、その他は、庄屋（名主）などの村の役人の屋敷の門としてつくられているが、江戸時代の百姓も幕府に貢献したことから苗字帯刀袴が許され、長屋門も許可されている。

長屋門は、屋敷の主屋に付属する建物ということで、主屋は時代の生活空間や地術的価値が重視されて調査研究がなされてきているが長屋門は付帯施設としてみられていた関係からや調査研究や保存にたいして二の次にされてきたきらいがある。

民家は消えゆくの標語ではないが、家屋として主要な施設でない関係から、日々失われてきている。

一刻も早く行政の力で維持管理を進めてほしい。

ネットで約 170 軒の長屋門を検索し特徴ある長屋門を選出してみた。

|   |  |
|---|--|
|  <p>黒門（重要文化財）</p>                            | <p>東京国立博物館内にある長屋門<br/>旧因州（鳥取藩）池田屋門両番所付き総本瓦葺国持大名の門の格式。<br/>旧丸の内大名小路（現在の丸の内3丁目）にあった鳥取藩池田家江戸上屋敷の正門です。創建の時期は江戸末期。<br/>「東京国立博物館 - 展示 屋外展示 - Tokyo National Museum」より</p>                |
|  <p>「旧西郷屋敷長屋門 - 彦根観光ガイド：公益社団法人 彦根観光協会」より</p> | <p>旧西郷屋敷長屋門は、彦根城下では現存する長屋門中最大のもので、特に正面の外観はほとんど旧形を保ち、旧武家屋敷の面影を残す貴重な遺構で、市の指定文化財です。<br/>西郷家は遠州（現・静岡県）の出身で「34家」の1つで家老職でした</p>  |
|  <p>白壁とナマコ壁の外観が美しい写真と解説はWikipediaより</p>      | <p>農家の長屋門（増田家住宅、重要文化財）。和歌山県岩出市にある古民家。<br/>国の重要文化財。江戸時代中期に、那賀郡山崎組の世襲大庄屋を勤める増田家の屋敷として建設された。<br/>主屋と表門、土塀が現存する。和歌山県最古級であり、本瓦葺やなまこ壁、座敷の造作が高品質であること、紀ノ川沿いの地域の近世農家建築の特徴をよく伝えていることなど。</p> |



神奈川県川崎市多摩区民家園旧佐地家門・  
供待・塀名古屋から移築門、供待、塀が  
一体。  
P.S 長屋門の形式が出来上がる過程の形で  
はないのだろうか。  
「川崎市教育委員会：旧佐地家門・供待・  
塀」より



山形県金山町万宝院の門元和 8 年 1622  
年。  
山形を治めていた屋上氏改易に伴って、楯  
山に金山城が築城されていた際の大手門を  
移築したもので、昭和の大火災にも延焼を  
免れ今日に至っている。  
「万宝院長屋門（十日町） | 金山の時間 |  
最上郡金山町」より



北條家は代々医を業とし、「道益」の名を  
号した一族。  
正面に窓を設けない質素な意匠で、農家敷  
地の表構えを形成している。小屋裏に天保  
年間（1830～1844）の祈祷札があったこ  
とから、建築年代は19世紀初頭までさか  
のぼると考えられている。  
「国登録 有形文化財：北條家住宅 - 新潟  
県佐渡市公式ホームページ」より



山形県飯豊町渡邊六郎兵衛家  
東側の室は作業小屋で登梁形式、西側の室  
は家財道具を収納し天秤梁で棟木を受け、  
小屋組を異にする。腰を煉瓦貼とし、観音  
扉の窓を連続させ、集落の歴史的景観に寄  
与する。  
「山形県飯豊町渡邊六郎兵衛家の画像」と  
「渡邊六郎兵衛家住宅長屋門 文化遺産オ  
ンライン」より



東京都足立区旧増野製作所門（浅野家）、  
都市農業公園。  
この長屋門は明治30年（1897）頃の建築で  
浅野家の正門として「谷久門」と称されて  
いた。その後紆余曲折し、平成 12 年  
（2000）区が寄贈を受け、都市農業公園に  
移築復元しました。  
「旧増野製作所長屋門 | 足立区」より



千葉県柏市・旧吉田家住宅は、苗字帯刀を  
許された士分格の家柄・豪農・商家といっ  
た側面をもつ。屋敷構え全体が今日まで良  
好な状態で伝えられ、屋敷への眺望も意識  
して守り伝えられてきた。  
「柏市旧吉田家門の画像」と「旧吉田家住  
宅歴史公園 | 柏市役所」より